

15. カラー

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | 注意事項 |
|--------------|------|--|--|
| 疫病 (F) | 生育期間 | 1. ほ場の排水性向上に努める。 2. 発病株は直ちに抜き取り、ほ場外に埋却する。 | |
| 軟腐病 (B) | 生育期間 | 1. 罷病塊茎を絶対に使用しない。 2. ほ場の排水性向上に努める。 3. 発病株は直ちに抜き取り、ほ場外に埋却する。 | |
| モザイク病 (V) | 生育期間 | 1. アブラムシ類防除のため、「21. 花き類・観葉植物」の項を参考に、定期的に殺虫剤を散布する。 2. ハウス周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。 3. 罷病株から順次二次伝染が起こるため、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。 | 1. 病原ウイルスにはCMV、DsMVなどが知られており、いずれもアブラムシ類により媒介される。 |

16. けいとう

・殺菌剤（参考農薬）

| FRACコード | 薬剤名 | 使用方法 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---------|---------|------------------|------|------|----|
| M3+1 | ホーマイ水和剤 | 30分間種子浸漬 種子粉衣 | は種前 | 1回 | |

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 蚕毒・魚毒については、「24. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | 注意事項 |
|--------------|------|---|---|
| 疫病 (F) | 生育期間 | 1. ほ場の排水性向上に努める。 2. 発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。 | |
| モザイク病 (V) | 生育期間 | 1. アブラムシ類防除のため、「21. 花き類・観葉植物」の項を参考に、定期的に殺虫剤を散布する。 2. ほ場周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。 3. 罷病株から順次二次伝染が起こるので、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。 | 1. 病原ウイルス（CMV）は、アブラムシ類により媒介される。 |
| 苗立枯病 (F) | は種前 | [参考農薬] 1. 種子に対する薬剤処理は、ホーマイ水和剤200倍液に30分間種子浸漬処理をするか、種子重量の1.0%を種子粉衣処理する。 | 1. 消毒液の残液については、農薬廃液処理装置を用いて処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を依頼する等適正に処理する（特別指導事項参照）。 |